

刊夕 日二十月八



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五號 十二字 第一行 五元 五號 以下 減半  
 日曜 祭日 日 休刊  
 發行所 常磐宮日新聞社  
 印刷所 常磐宮日新聞社

### 日本精神と神社 (七)

石城郡神社總代人大會席上演筆記  
 國學院大學教授 河野省三

そこで、先程申し上げました日本心の三つの特色、神々しさと懐かしさと清々しさを最も能く現はして居るのは、實に日本の神社であります。産土神鎮守様は實に能く神々しさを、懐かしさを清々しさを現はして居る一体お宮と云ふものは何う云ふ所であるかと云ふと、それは神々しく懐かしくそれから清々しい所であると云ふことが出来ず、皆さん伊勢神宮へ我々が参拝して最も強く受ける印象は何と云つても神々しさであり、また、あの神路山のほとりから緑濃く打續く所の白木造りの御神殿何と云ふ神々しさでありませう、而も其の神々しい神聖なる伊勢の大神宮にお詣りをするとお互は何とも云へない御懐かしさを感ずる、是れが私共の伊勢大神宮に對する氣持であります、それから伊勢神宮は何と云ふ清々しいお宮でありませう。五十鈴川のほとりに立ちましてもあの清らかな流れで口を嗽ぎ白い石の上を歩いて御社頭に進めば本當に薩張した清々

しい氣持になります、然う云ふ氣持は何處の神社でも起りますけれども伊勢神宮へお詣りをすると一層其の感が強く起つて参ります。西行法師がお詣りして感極まつて讀むだ「何事のおはしますか知らねどもかたじけなきに涙こぼるる」で何と形容してよいか分らぬ自分には其の形容の仕様もないけれども只有がたさに涙がこぼれると云ふのはその神々しさが日本心に共鳴するからであります、日本心とお宮さんが神々しい懐かしき清々しい心が一緒になつてくる、是れは伊勢神宮へお詣りしても苟くも日本の何ういふ神社にお詣りしても皆神々しく懐かしき清々しい氣持が起ります。それで日本の神社は何ういふ具合に經營すべきであるかと云ふに是れは神職の方或は氏子總代の方に大いに注意をして頂きたいと思ふのであります。凡べて神社の御神殿は神々しくするに限る、而も出來得る限り鎮守の森の設備を懐かしく

### 常磐文藝 幻影

おやみ 小さな玉みだいのがふわ／＼と病室に……  
 死の豫告でもあるかの様に何だか斯う息苦しい  
 あつ あつ  
 思はず眼を閉ぢた  
 けれども拂つても  
 風船みたいな幻影は  
 何時までも消えなかつた  
 病に伏す人のみがしる  
 幻影が……

亡父勝二儀本々新益に相  
 當仕候も故人の遺志に依  
 り提灯の御贈與辭退仕度  
 此段御諒承願上候  
 内郷村新町(平公園下)  
 鹽坂 幸子  
 電話一九二番

亡喜代子儀新益に相當り候處時節柄佛  
 前供品一切御辭退可申上候付不惡御了  
 承相成度候 敬白  
 新田町  
 清野 音吉

亡息茂儀新益の處時節柄  
 御供物一切御遠慮申上候  
 舊七月  
 森本盛一

故高岡唯一郎  
 故伊藤 芳吉  
 故山崎 忠治  
 右本年新益に相當り候處時節柄提灯そ  
 の他供物一切御辭退申上度此段謹告仕  
 候  
 八月九日  
 山崎 吉平  
 伊藤淺之助  
 高岡 文夫

### 中元特賣

洋菓子	盆	半打	三十
洋菓子	盆		四十五
洋菓子	盆		四十五
洋菓子	盆		六十五
洋菓子	盆		四十
洋菓子	盆		八十
洋菓子	盆		一圓五十
洋菓子	盆		二圓六十
洋菓子	盆		二圓七十

其ノ他種々御用命願ます  
 平町一丁目  
**和久井屋漆器店**  
 電話四〇五番

### 特賣 御返禮銘茶

八月十日ヨリ十四日  
 (御買上五圓以上一割引)  
 香味本位の本場銘茶を  
 召上りませう  
 電話三九六番  
**大勝園**  
 在荷豊富

### 御中元の御贈答に

漆器は 高尚優美、重寶な器物  
 大暴落の最底値段時代  
**共**の漆器を……  
 共は漆器専門店にて在庫品各種豊富  
 に取揃へ破格の大勉強を致します  
 ◎是非一度御照會を  
 各國産漆器専門卸小賣  
**共共榮漆器店**  
 (平町三丁目北裏  
 元郵便局裏通り)

### 救濟工事の請願續々

## 悪水豫防

### 未了の分を

### 是非縣施工にと 平町が打電懇請

平町外二ヶ村悪水豫防組合の新川改修工事は現在平警察署裏手より長橋地内に至る四百間、工費二萬四千餘圓に達する未了工事を除き殆んど竣工に近いので町役

## 救濟事業の

### 陳情案を携へて

### 土肥土木課長が上京

土肥本縣土木課長は石城郡石住、貝泊方面の道路改修工事を巡視の上十五日來平し平土木監督所管内の各種

## 平窪村 失業者 百餘名

### 救濟の爲め縣營工事

石城郡平窪村の失業者は現在百餘名に及び生活慘憺たるものある爲め近く縣營工事として中平窪地内山林の

## 水面より低い路面

### 護岸をコンクリートにと

平町夏井村間及び四倉、江名兩所愛谷江筋護岸延長約一里に接する路面は水面より低い爲め出水毎に交通絶たすので本日關係町村長たる伏見平町長外、阿部夏

井村長、伊藤飯野村長、鈴木高久村長の四氏が連署の上同箇所を護岸を縣工事に

## 東北六縣の

### 健保部長會議を 廿日平町に開く

東北六縣の健康保險部長會議は来る廿日午前九時より平町マルトモホール樓上に開催され日本醫師會會長北島博士及び内務省社會局保險課長外五十餘名の出席を見るので縣醫師副會長酒井國

## 先生が生徒で

### 手工のお稽古

石城郡下各小學校教員手工講習會は来る二十五日より四日間平第一小學校に於て行れるが、講師は東京高等師範學校教授三苦正雄氏に

## 新

### 躍る (下)

### 篤ちやんの推薦

### 門馬直衛記

篤ちやんの作品は著しく個性性的だ、自分を出さう新しく進まうと志す、下總氏の影響も、成田氏のも、見るにしても餘りに著明でなく著明なの、作曲家自身な

してコンクリートにして貰ひ度いと陳情書を發した

### 磐中同窓會長

既報磐城中學校同窓會新會長は關内正一氏と決定したと

思潮及び粘土の實習 (二十六日) 手工教材の研究及び簡易木工の實習 (二十七日) 各學年の教授細目及び方〇紙とボール紙に依る實習 (二十八日) 圖案と製圖に就いて及び作品の鑑賞

### 平町人事

△月見町三一坂本直吉氏二  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△長橋町三〇馬目豊氏四女  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△北目町一馬場卯一郎氏

## 科人婦・科外 院醫坂井

町田町平  
番九五五話電

男圭男  
△北目町一馬場卯一郎氏  
長男俊一  
△長橋町三〇馬目豊氏四女  
洋子  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△北目町一馬場卯一郎氏  
△北目町一馬場卯一郎氏

て科目は左の如くである因に本日迄の申込者は平町各小學校を筆頭に二百五十二名に達して居ると (二十五日) 最近の手工教育のた。

ムツリでゐる時は通俗振りや發揮する此の作曲家は殆んど常に眞面目でゐて而も屢々酒脱である、彼の歌曲は既に「世界音楽全集」の中の門馬氏編「日本歌曲集」(五月配本)にも出てゐるが、更に「ムジカ」の五月號にも發表された、今月のムジカに出された「春野」は彼の此の個性を充分に發

揮してゐる、彼の作品は尙今後もムジカに續々發表される筈。彼は今東京音楽學校教授であるクラウス・ブリングスハイム氏に就いて作曲を研究中であると云ふ立派な圓滿な音楽者として彼が尊敬される日も、さう遠くあるまい。(音楽雜誌ムジカより)

### 暑中御伺

## 石城町村長會

### 東部電力株式會社

平營業所

## 平町旅館組合

## 夏服

軽くサラリとした新製品を豊富に取揃へました。

シルクポラー三編... ¥17.00  
シルクポラー上下... ¥12.00  
トルビカル上下... ¥7.50  
黒セル上衣... ¥3.00  
純毛白セルづぼん... ¥2.50  
白直衣... ¥1.20

### ふかや洋服店

平三〇三  
電話二〇三

## 科外

門專 X  
科線光

### 上田外科醫院

平町南町  
電話一二九番

## 久全屋商店

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷はの生命なり

# 一無名生として

## 役場へ百圓の爲替

### 貧困者救済の一部にと

#### 伏見町長が感激

本日平町役場伏見町長宛に貧困者救済に利用され度いと金百圓の爲替券を封入して無名生として郵便で送つて寄込した奇篤な人があり町長は非常に感激して居る

# 桃の即賣

## 賣切

昨報平窪村農會の桃品評即賣會は郡農青山技手審査の結果一等矢吹初彌氏、二等鈴木豊吉氏以下夫々決定即賣せる處十六箇入一箱三十錢より廿五錢の安値なので飛ぶ様に賣れ午後三時頃には全部の賣切れを見た

# 賀澤氏辭職は

## 同氏の爲めに喜ぶ

### 共濟會幹部の談

# 石山博士留任

## 問題は氷解す

既報警城共濟病院の院長問題に關しては木村清治、小田吉次の兩氏が調停に這入つた結果共濟會長賀澤忠治氏は同會長の職を辭し院長石山謙郎博士は從前通り留任して診療に從來する事となり圓滿解決を告げたりに關し共濟會の一幹部は左の如く語る

「赴任以來熱心に診療に從事し稀れに見る名醫として患家の信頼を擔つた石山博士が留任する事になつたのは實に喜びに耐えない、夫れにしても賀澤氏が問題の中心人物たる責任を感じて引退す

るに至つたのは寧ろ賢明な行動である、誰れが何んと云つても共濟病院の創立は賀澤氏の力に依つて成された結晶である、創設者としての賀澤氏の苦心や努力は蓋し言語に絶するものがある、確かに賀澤氏は創立唯一の功勞者ではあるが而し創設者必らずしも經營の衡に當つてうまく行くかどうかは問題である、大病院の經營は一つの大きな事業なのであるから寧ろ其道の事業的才腕ある人材に委ねた方が業績進展に力がある、賀澤氏があらゆる苦難に耐えて今日迄病院の經營に努めた其意

# 九百圓を借受けて

## ドロンを極め込む

### 貸主から搜索願

平町胡摩澤一六生れ山田義雄は本年三月頃在京中知合つた東京府下西葛鴨町一六國井マサより九百圓の資金を借受け行衛を晦して丁つたが其後國井方でも家計に困り山田の生家が平町である關係から本日平署に搜索願を出して來た

# 老婆が

## 縊死を遂ぐ

石城郡湯本町字三箇居住菅野一朗の母シカ(七)は昨日午後五時頃自宅裏山林内で縊死を遂げて居るのを一朗が発見届出たので平署員が検視したが同人は三年

明日の天気 今晩も明日も南風時晴れたり曇つたり時々小雨がございます

# 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間お話 菅茶山の話 門田嘉一郎  
後六、三〇 夏期英語講座 (十二) 河合逸治  
後七、三〇 講演「全國中

等學校優勝野球大會を願る」和田信夫  
後八、〇〇 獨唱とピアノ 獨奏獨唱丹治ハルピアン 獨奏及伴奏富田三枝子  
後八、三〇 ラヂオドラマ 「涼しすぎる風景」築地座 連中

後九、四〇 全國ニユ氣象通報 番組豫告

# 明日の部

前九、一〇 料理献立「鳥のいさご煮」梅田嬌葉  
前九、三〇 婦人講座 「東西の自然詩觀」早稻田大學教授本間久雄  
後〇、〇〇 オリムピック大會狀況(米國NBCロサンゼルス放送局より中繼)  
後一、三〇 運動競技(雨

# 初日既に一萬圓

## 磐越銀行の拂戻

休業整理中であつた磐越銀行の第一回拂戻は昨十一日午前九時より開始したが預金者への配當額は六分一厘で一萬四千圓を拂戻す事となり預金者が殺到し昨日だけ一萬圓の拂戻をなした尚拂戻は今明日も行つて居る

# 飲み客が

## 泥的に急變

### 家人の米磨ぎ中に在り金盗んで逃走

既報新任平警察署長として赴任する喜多方警察署長小田部秀夫氏は来る十七日午後六時平着列車で着任する

石城郡好間村字北好間食堂荒井キンシで去る十日午後九時頃家人が裏庭の井戸へ米磨ぎに出掛けた留守中飲み客であつた卅才前後の勞働者が店先に有つた八圓餘在中の手提金庫を盗んで逃走した届出により目下平署で犯人捜査中

# 平署署長の部

△女中 三十才迄 尋卒  
給料面談(平町某食堂)  
△工場監督 三十才以上 高卒 廿七圓(江名町某)  
△回求職の部  
△魚店員 十四才 尋卒 給料面談(平町某)  
△店員 十九才 中三年退 給料面談(群馬縣某)  
△土工 三十五才 尋卒 給料面談(宮城縣某)

# 自動車傷害の

## 異議申立

### 十九日公判

既報石城郡湯本町大字湯本

# 幕末の剣士

【禁載上演及映畫】  
悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

第二百二十五席 眞庭念流の達人櫻井五助

要介林藏を弔ふ

秋山要介は磯五郎より林藏の殺された事を聞いて

要「長脇差が白刃の下で命を落すは當然の成行とて悲しむところも無いがあれ程腕の出来た林藏がどうしてさう、容易く斬られたか」

磯「ハイ、猪之松の買馴染のあのおやまの爲に嘯されまして足立屋に呼出され酒に酔つて寝てゐる所へ、十八人斬り込んで殺されました」

要「ウム、それからどうした」

磯「山毛谷戸の源太郎はじめ五人が自訴して、喧嘩兇状で八丈送りになつたさうでございます」

要「さうか、一体何者が初太刀を斬つた」

磯「門峰吉が槍で林藏を突きそれが爲め哀れな最期をいたしました」

要「門峰吉と云ふは角力取上りであらう、それはまだ娑婆に居るか」

磯「ハイ、當時旅に出てゐるとか聞きました」

要「イヤ、林藏の三回忌までには俺が施主になつて立派に法事をして遣る、アア何んにしても墓參を致さう

案内しろ」

菩提所に參つて向回料を置き

要「老爺、三回忌までに俺が參らねば此丈右衛門を差出すぞ」

と云ひ置いて此處を去り



要「何時も繁昌して芽出度い事だ、變つた事は無いか」  
主「左様でございますね、先生も御存知の寄居の虎五郎親分の所にお在なざる櫻井先生は大層評判が宜しいでございます、お弟子も大分附きまして今度新しく道場を造りました」  
要「ウン然うか、櫻井は出来るよ、劍法は念流と申して居るがその實は一刀流だナ、それに己れの工夫にされる刀法を加へ練磨いたす事とて腕は牙え先づ當代の名人であらう」  
主「先生が名人と云ふ様で

あれより江戸に行くつもりで熊谷まで来て小松屋と云ふ有名な旅宿に泊る、此處の主人は秋山は定客でございますから、その部屋に參つて

は櫻井様は豪傑でございますナ  
要「何藝に依らす古人の心附かぬ、田地を開拓した者ならんば名人とは云はれぬナ、俺の劍術は神影流だが一先を工夫致した、それを他人に譲つて置きたいとは思存するが未だ者ではそれ

を末世に傳へることはならぬ、偶々人間界に生を得て而も武士であれば武道に就て利益を興へたいものだ、人がこの土に出たからには世界に爪の痕を遺して置きたい。身体が腐つて死ぬを待つは愚かな事だナ、イヤ理窟を申しては酒の味がよろくない、今夜は陽氣に騒ぐかナ、些と悲しい事があつてそれを慰める爲に變つた遊興をいたす」  
主「ヘエ、宿に居ります白粉臭い女共でも、招びますか」  
要「女は叶かん、當所名物の押しくら隠し賣女は招びことはなるまい、それに一体俺は女は嫌ひでナ」  
主「左様でございますナ、先生は遂に悪所場へお出になつた事がございませぬ」  
要「俺の色は酒だナ、これが一番戀しいところで今夜は宿の按摩を殘らずこれへ呼び集める事に致す」  
主「ヘエ、按摩を招んで何んになさいませぬ」  
要「何んになさいませぬと聞かれては答辯に困る、頭から鹽を付けて噛むわけではない、彼等に馳走して隠し藝を見ることに致す、これは藝妓を招んで遊ぶより興味があるらう」  
主「ヘエ、それでは早速按摩を呼ぶ事に致します」  
要「目明きは叶かんよ盲人に限る」  
主「長まりました。早速若い者に申付けまして按摩を生捕ることにいたします」  
主人は下に行く、後で要

介が岸丈右衛門に何やら囁いた、  
主「それは面白い趣向で、料理番に申付けて置ませう」  
と臺所へ来て板前に註文を出した  
料「先生は變つて居りますナ、然しこのお遊びは紀伊國屋文左衛門とて氣が付きませぬ、宜しうござんす萬事支度を調べて、置きます」  
主「頼むぞ」  
と云ひすて部屋に來た、スルと按摩が笛を吹鳴らし通る、小松屋の手代は表の縁臺に腰を卸してあんまの來るのを待つてゐたが手「オイ、あんまさん」  
あ「ヘエ、有難うございませぬ」  
と立止つた

## 音樂講習會

作曲科 (和聲學初歩對位法 伴奏ノ附ケ方)  
ピアノ科 (歌謠曲ノ作り方)  
▲期日 十五日ヨリ二十一日マデ  
▲會場 平陽女學校  
▲時間 (作曲科)午前八時—十一時 (ピアノ科)午後一時—四時迄  
▲講師 武藏野音樂學校卒業中野篤親  
▲會費 一科目三圓 二科目五圓  
申込所 柴田書店 菊屋樂器店  
◇初歩の方も歡迎致します

## 度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器 關内藥局

電話四〇番

## 御位牌と佛壇佛具

平町新川町 橋本屋佛具店 電話一六三番

## 提灯

御新佛御供養の御法名入提灯の大奉仕  
瓜形 一對房付 金二圓五十錢より  
角形 同 金一圓九十錢より  
其他岐阜提灯種々取揃へてあります  
是非御下命は電話九五番  
平四丁目

## スガノヤ提灯店

御用命 印刷物の總代理  
常磐每日印刷株式會社  
電話三六〇番

## 藤沼醫院

平町紺屋町 電話五七〇番